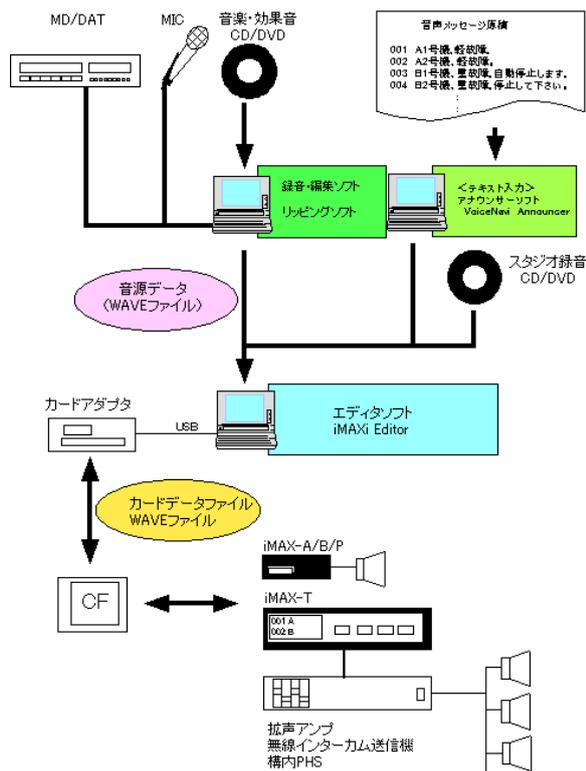


■カードデータの作成方法(音源データの登録・追加変更並びに組立再生・リピート回数の設定)



[音源データ(WAVE ファイル)の用意]

パソコン上でマイク・ライン入力による録音、スタジオ録音、テキスト音声変換ソフトなどにより音源データ(WAVE ファイル)を作成・用意します。

[音源データ(WAVE ファイル)の登録]

エディタソフト iMAX Editor の WAVE ファイル登録画面で使用予定の音源データ(WAVE ファイル)を登録します。試聴できます。

[入力端子・アドレス登録・プログラム登録]

エディタソフト iMAX Editor の TOP 画面(アドレス登録・プログラム登録)で端子毎に音源データ(WAVE ファイル)を登録します。

この際、1端子最大 8 データまでの組立再生、5 回までのリピート再生などのプログラム登録ができます。

(注) 2J 最大 8 データ 1J 最大 4 データ

[iMAX-T シリーズの優先順位 ABC の設定]

iMAX-T 本体のタッチパネルLCD上で、入力端子毎に設定します。

■動作環境

パソコン	下記 OS 搭載に Windows マシン Windows Vista/XP/2000 (注)AV 機能を有する事				
メモリ	上記 OS が必要するメモリ容量				
ハードディスク	1GB 以上の空き容量 (別途、登録する音声・音源データファイルの容量並びに作成するカードデータの容量)				
カードアダプタ	パソコン付属または市販の USB 接続タイプのカードアダプタ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>適用カード</th> <th>使用機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CF カード</td> <td>iMAX シリーズ</td> </tr> </tbody> </table>	適用カード	使用機種	CF カード	iMAX シリーズ
適用カード	使用機種				
CF カード	iMAX シリーズ				

■標準仕様

適用可能製品	本ソフトで作成したコントロールデータは下記製品で使用できます。 iMAX シリーズ																					
制御-点数	対応できる制御モード・点数(CH 数)は下記参照 <table border="1"> <thead> <tr> <th>制御モード-点数</th> <th>制御モード</th> <th>対象機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(接点制御-2 点)</td> <td>接点制御</td> <td>KEY CODE 未入力時</td> </tr> <tr> <td>接点制御-4 点</td> <td>接点制御</td> <td>iMAX-A2 他</td> </tr> <tr> <td>接点制御-8 点</td> <td>接点制御</td> <td>iMAX-A2 他</td> </tr> <tr> <td>接点制御-16 点</td> <td>接点制御</td> <td>iMAX-A3 他</td> </tr> <tr> <td>接点制御-95 点</td> <td>接点制御</td> <td>iMAX-T 他</td> </tr> <tr> <td>B/S 制御-255 点</td> <td>接点制御 バイナリ制御 シリアル制御</td> <td>iMAX-A2/A3 バイナリ制御 iMAX シリーズ全機種</td> </tr> </tbody> </table>	制御モード-点数	制御モード	対象機種	(接点制御-2 点)	接点制御	KEY CODE 未入力時	接点制御-4 点	接点制御	iMAX-A2 他	接点制御-8 点	接点制御	iMAX-A2 他	接点制御-16 点	接点制御	iMAX-A3 他	接点制御-95 点	接点制御	iMAX-T 他	B/S 制御-255 点	接点制御 バイナリ制御 シリアル制御	iMAX-A2/A3 バイナリ制御 iMAX シリーズ全機種
制御モード-点数	制御モード	対象機種																				
(接点制御-2 点)	接点制御	KEY CODE 未入力時																				
接点制御-4 点	接点制御	iMAX-A2 他																				
接点制御-8 点	接点制御	iMAX-A2 他																				
接点制御-16 点	接点制御	iMAX-A3 他																				
接点制御-95 点	接点制御	iMAX-T 他																				
B/S 制御-255 点	接点制御 バイナリ制御 シリアル制御	iMAX-A2/A3 バイナリ制御 iMAX シリーズ全機種																				
接点(アドレス)登録 プログラム登録	各接点(アドレス)に SOUND、LED、BUZZAR、EX 出力を登録できます。 (注) LED、BUZZAR、EX 出力は本機能を有する製品のみ有効。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SOUND</td> <td>各接点(アドレス)に SOUND 登録した音声・音響データを選択・登録 組立(フレーム)再生 最大 8 データ リピート回数 最大 5 回</td> </tr> <tr> <td>LED 出力</td> <td>無灯 点灯 減 ABC のパターン設定 時間入力</td> </tr> <tr> <td>BUZZAR 出力</td> <td>停止 鳴動 鳴 ABC のパターン設定 時間入力</td> </tr> <tr> <td>EX 出力</td> <td>無 有</td> </tr> </tbody> </table>	登録項目	内容	SOUND	各接点(アドレス)に SOUND 登録した音声・音響データを選択・登録 組立(フレーム)再生 最大 8 データ リピート回数 最大 5 回	LED 出力	無灯 点灯 減 ABC のパターン設定 時間入力	BUZZAR 出力	停止 鳴動 鳴 ABC のパターン設定 時間入力	EX 出力	無 有											
登録項目	内容																					
SOUND	各接点(アドレス)に SOUND 登録した音声・音響データを選択・登録 組立(フレーム)再生 最大 8 データ リピート回数 最大 5 回																					
LED 出力	無灯 点灯 減 ABC のパターン設定 時間入力																					
BUZZAR 出力	停止 鳴動 鳴 ABC のパターン設定 時間入力																					
EX 出力	無 有																					
SOUND登録	●最大登録数 255max. ●登録可能 WAVE ファイル 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit Mono 32/16/8KHz 16/8Bit Mono (注)異なるサンプリングモードの混在登録もできます。																					
LED出力 (外部出力)	LED 出力(外部出力接点)を有する製品の場合、設定が有効 減 ABC パターンの時間設定もできます																					
BUZZAR 出力 (外部出力)	BUZZAR 出力(外部出力接点)を有する製品の場合、設定が有効 鳴 ABC パターンの時間設定もできます																					
EX 出力 (外部出力)	EX 出力(外部出力接点)を有する製品の場合、設定が有効																					
テスト機能	PC 上で個別・一括で接点端子(アドレス)のテストできます SOUND 再生 LED/BUZZAR /EX PC 画面上○点灯・点滅																					
コントロール データ作成	作成フォルダ名、コントロールファイル名や作成情報を入力できます。																					
印刷	A4 横用紙に各種情報を印刷																					
ファイル読み込み	下記のコントロールファイル・カードデータを読み込みでみます。 .imx iMAX Editor .wpj VoiceNavi Editor																					
その他	・無音データ作成機能 (SOUND 登録画面) ・ステレオ→モノクロ(SOUND 登録画面) ・16Bit →8Bit(SOUND 登録画面)																					

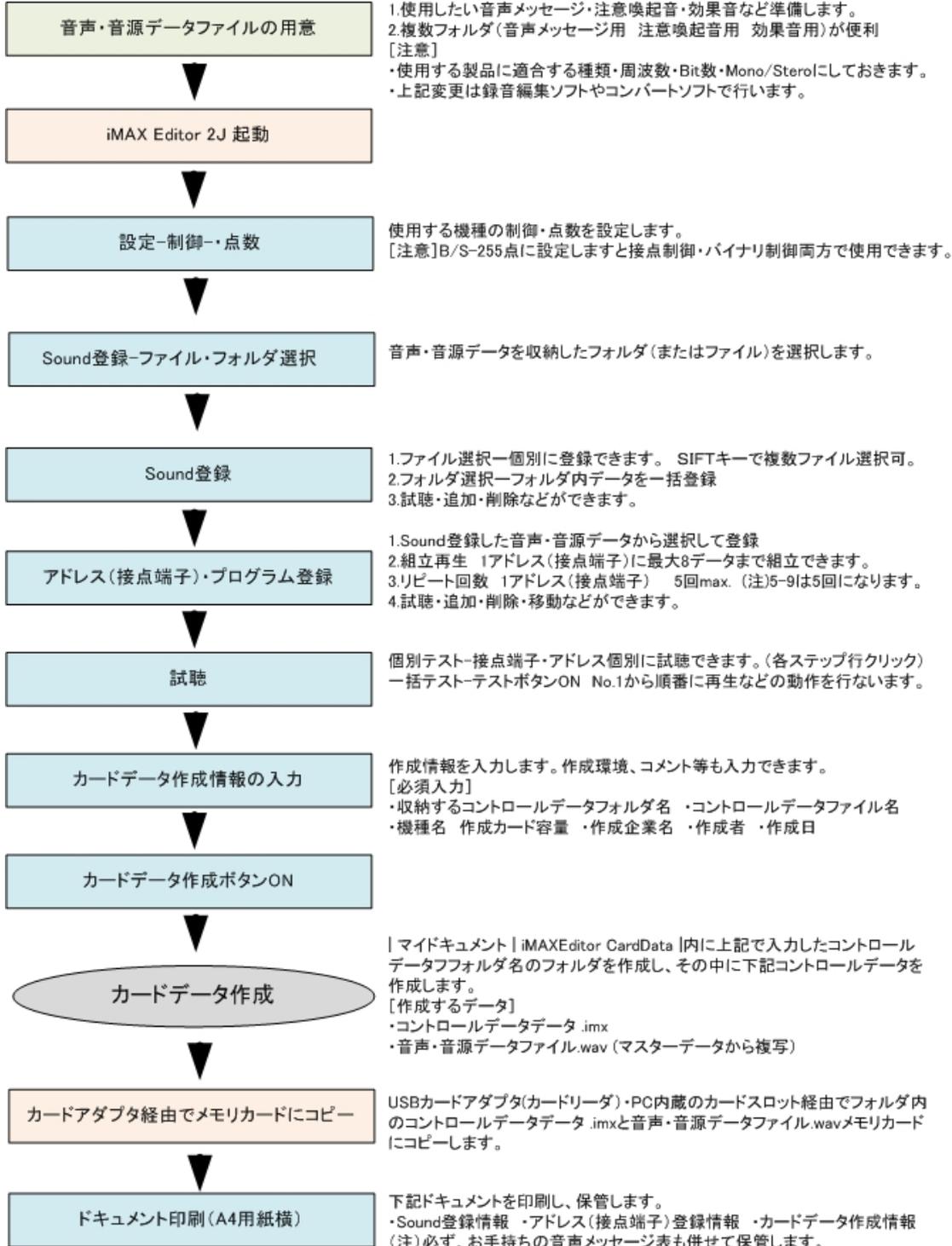
VoiceNavi

■作業手順（音源データの準備－音源データ登録－コントロールデータ作成）

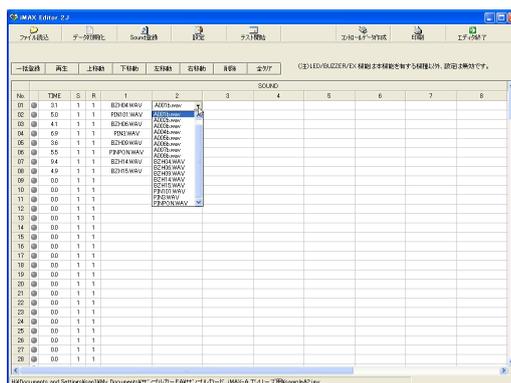
ひとまず、音声・音響データを準備します。

iMAX シリーズ付属品 CF カード内にブザー・チャイム音・メッセージなどのフリー音源ライブラリ、テキスト音声返還ソフトで作成・保存、自社の PC でマイク録音、スタジオ録音した音声・音響データ(WAVE)を準備します。

音声・音響データ(WAVE)があれば、iMAX Editor 上で試聴しながら接点端子(アドレス)への登録、チャイム音+音声メッセージなどの組立再生やリピート回数などのプログラム登録ができます。

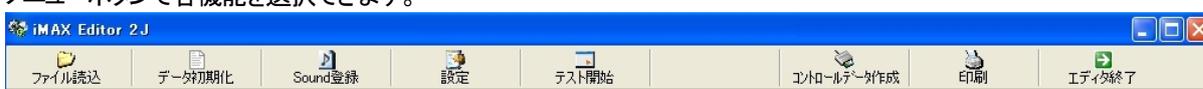


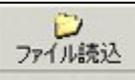
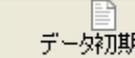
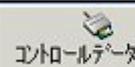
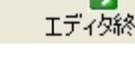
■エディタ画面(編集画面)



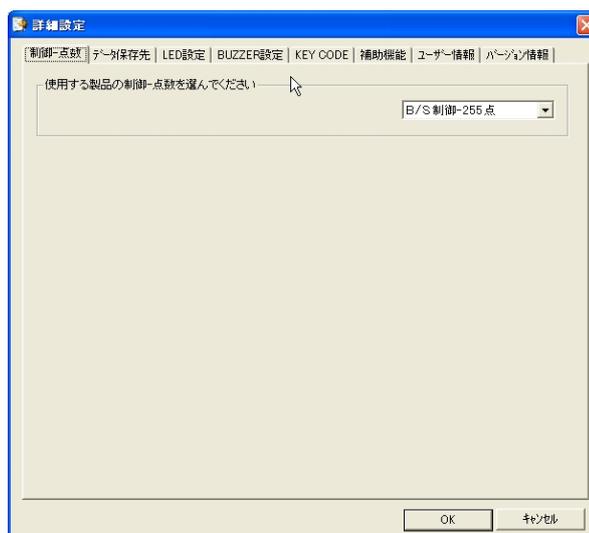
■メニューボタン

メニューボタンで各機能を選択できます。



ボタン	ボタン名	内容
	ファイル読込	作成したコントロールデータを読み込みできます。 (注)ファイル保存はコントロールデータ作成で行います。
	データ初期化	作成したコントロールデータを読み込みできます。 (注)ファイル保存はコントロールデータ作成で行います。
	音声・音源データの登録	使用する音声・音源データ(WAVE ファイル)を試聴・登録します。
	設定	本画面上で登録する接点・アドレス数(CH 数)、LED 点灯点滅パターン設定、ブザー鳴動パターン設定、システム設定を行います。
	テスト開始	一括再生テストができます。 001～順番に再生します。
	コントロールデータ作成	本画面上で所定データを入力してコントロールデータを作成します。
	印刷	本画面上で各種情報の印刷ができます。
	編集画面を閉じる	本ソフトを終了します。

■設定画面



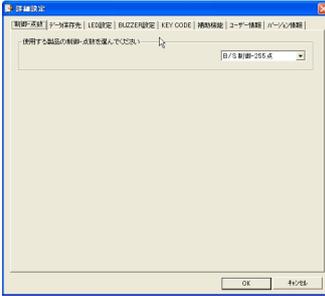
■タグ



コントロールデータの編集を行う前に、詳細設定画面で下記データを設定します。

制御-点数	使用するコントローラの型式を設定します。 この設定で、画面上で入力できる入力端子(アドレス)数が設定されます。 作成するコントロールデータファイル名や保存先のフォルダー名を設定できます。
データ保存先	作製したコントロールデータの保存先を設定できます。 【デフォルト】 My Documents\MaxEditor CardData
LED設定	点滅パターンを時間設定して3パターン設定できます。 エディタ画面上では、設定した3パターン以外に無灯、点灯(連続)を加え、5パターンから選択できます。
ブザー設定	鳴動パターンを時間設定して3パターン設定できます。 エディタ画面上では、設定した3パターン以外に停止、鳴動(連続)を加え、5パターンから選択できます。
KEY CODE	ユーザー登録・配布されたKEY CODEを入力します。
補助機能	通常は使用しません。
ユーザー情報	本ソフト登録時のユーザー情報を表示します。
バージョン情報	本ソフトのバージョン情報を表示します。

■制御-点数



本画面で、制御モード・点数を設定します。

設定によりエディタ画面の入力点数が切り替わります。

(注)

LED/BUZZAR/EXは搭載していない機種では、入力項目は入力しても無効になります。

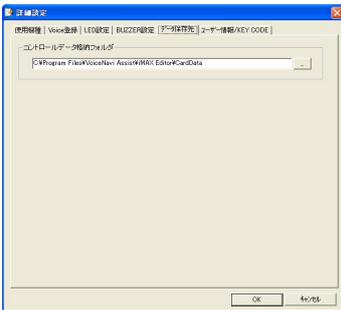


制御モード-点数	制御モード	対象機種
(接点制御-2点)	接点制御	KEY CODE 未入力時
接点制御-4点	接点制御	iMAX-A2 他
接点制御-8点	接点制御	iMAX-A2 他
接点制御-16点	接点制御	iMAX-A3 他
接点制御-95点	接点制御	iMAX-T 他
B/S制御-255点	接点制御 バイナリ制御 シリアル制御	iMAX-A2/A3 バイナリ制御 iMAX シリーズ全機種

(注) 1.B/S-255点で作成したカードデータは接点4-95点でも使用可。

2. VoiceNavi Editor で作成したカードデータでも使用可

■データ保存先



作製したコントロールデータの保存先を設定できます。

【デフォルト】 My Documents\iMaxEditor CardData

■LED設定



【適用機種】 LED 出力回路を有する製品

LED 表示灯の点滅パターンを設定します。

無灯、点灯(連続)はエディタ画面上で選択できます。

[テスト機能]

プレビューの口欄をチェックしますと、画面上の LED ランプ表示が点灯点滅します。

(注)

テスト機能のLEDランプ表示の点灯点滅は、パソコン本体の機能に依存しています。実際の場合、iMAXシリーズと接続するLED表示灯により若干、点灯点滅スピードが異なる場合もあります。

■BUZZAR 設定



【適用機種】 ブザー出力回路を有する製品

ブザー鳴動(断続)パターンを設定します。

停止、連続はエディタ画面上で選択できます。

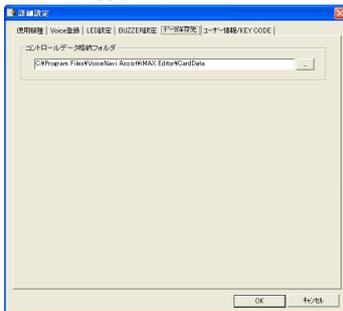
[テスト機能]

プレビューの口欄をチェックしますと、画面上の LED ランプ表示が点灯点滅します。

(注)

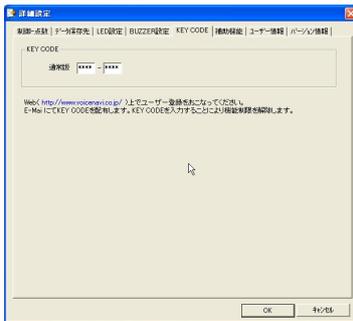
テスト機能のLEDランプ表示の点灯点滅は、パソコン本体の機能に依存しています。実際の場合、iMAXシリーズと接続するブザーにより若干、鳴動スピードが異なる場合もあります。

■データ保存先



作製したコントロールデータの保存先を設定できます。
【デフォルト】 My Documents\VoiceNavi\MAX_Editor\CardData

■KEY CODE



ユーザー登録・配布された KEY CODE を入力します。

【KEY CODE】
KEY CODE 入力後、入力は非表示になります。

■補助機能



通常時、使用しません。

■ユーザー情報



インストール時に登録したユーザー情報を表示します。

(注)
変更できません。
ユーザー情報は作成したコントロールデータに付記されます。

■バージョン情報



バージョン情報を表示します。

■音声・音響データの事前登録・変更（SOUND 登録）

登録前に	設定画面の「制御-点数」で使用する製品に合わせて設定して下さい。 不明な場合、B/S 制御-255 点に設定して下さい。
------	---

本 WAVE 登録画面で、使用する音声・音響データ(WAVE ファイル)を登録します。

本画面で登録した音声・音響データ(WAVE ファイル)はエディタ画面(アドレス・プログラム登録)上で何回でもご登録できます。

【登録上のご注意】

同一ファイル名を重複して登録できません。

登録した音声・音響データ(WAVE ファイル)は、カードデータ作成時、全て CardData 内に複写します。

【SOUND 登録画面】



【操作ボタン2】

ファイル選択	上へ移動	试听	削除
フォルダ選択	下へ移動	全试听	全削除

名称	内容
ファイル選択	指定したフォルダ内の音声データ(WAVE ファイル)単位で登録します。 [複数ファイル登録] SIFT+ Ctrl+などを使用して複数ファイルを選択
フォルダ選択	指定したフォルダ内の音声データ(WAVE ファイル)を一括で登録できます
上移動	音声データ(WAVE ファイル)を上移動
下移動	音声データ(WAVE ファイル)を下移動
试听	No.単位で试听できます
全试听	No.全てを順番に试听できます
削除	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します
全削除	画面上の全音声データ情報を削除(オールクリア)します

【登録可能音声・音響データファイル】

シリーズ	音源タイプ	登録可能サンプリングモード	備考欄
iMAX シリーズ	WAV	44.1KHz 16/8Bit Mono	11.025KHz 16/8Bit Mono 可
		22.05KHz 16/8Bit Mono	32/16/8KHz 16/8Bit Mono 可

【1 ファイル容量制限】

シリーズ	1 ファイル容量制限	備考欄
iMAX シリーズ	使用するカード容量内	

【適用ファイル形式】 (注)日本語、ロングネームのファイルは使用できません

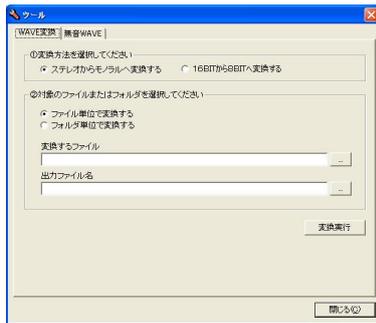
8.3 形式	アルファベット英数字 8 文字表示 [例] 1234568.wav 111_123.wav aaaaa123.wav abc_001.wav
--------	---

- (使用不可)
- ・ロングネームのファイル名はご使用できません。
 - ・スペース、-, (), {} など Windows 上のファイル名の禁止文字は使用できません。

■ツール (16Bit→8Bit 変換/ステレオ→モノ変換/無音 WAVE データ作成)

16Bit データを 8Bit データに、ステレオデータをモノラルデータにフォルダ単位、ファイル単位でコンポートできます。また無音の WAVE ファイルを 1~59 秒、1~5 分の時間指定で作成できます。

■WAVE 変換



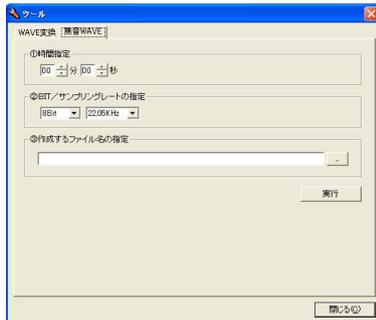
WAVE ファイル ステレオ→モノラルまたは 16Bit→8Bit にフォルダまたはファイル単位でファイルコンポートできます。

【コンバートのファイル名】

コンバート前	コンバート後
*****.wav	****_001.wav

(注)****の部分の同一の場合、_001~附番

■無音 WAVE

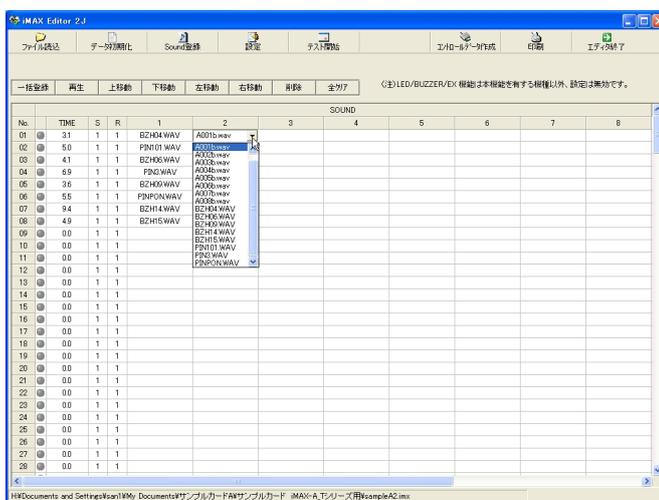


指定した時間の無音の WAVE ファイルを作成できます。事前にフォルダを用意します。

時間指定 **分**秒	通常 1秒 2秒 5秒 10秒などの無音データを事前に作成しておきます。
BIT/サンプリングレートの指定	22.05KHz 16Bit Mono
作成するファイル名の指定	(例)muon_05 ファイル名 アルファベット英数字 8 文字以内

■エディット - アドレス(接点端子)へのデータ登録・変更

エディタ画面で、iMAX シリーズに対応したアドレス (接点端子) 登録を行ないます。
必要に応じて、組立再生、リピート回数のプログラム登録を行ないます。
WAVE ファイル登録画面で登録した WAVE ファイルを何回でもご使用できます。



[エディタ画面]

SOUND											LED		B			
No.	TIME	S	R	1	2	3	4	5	6	7	8	TYPE	TIME	TYP		
01	31	1	1	BZH4.WAV	A001b.wav							●	無灯	0.0	●	停止
02	5.0	1	1	PN101.WAV	A002b.wav							●	無灯	0.0	●	停止
03	4.1	1	1	BZH06.WAV	A003b.wav							●	無灯	0.0	●	停止
04	6.9	1	1	PN3.WAV	A004b.wav							●	無灯	0.0	●	停止
05	3.6	1	1	BZH09.WAV	A005b.wav							●	無灯	0.0	●	停止
06	5.5	1	1	PNPN.WAV	A006b.wav							●	無灯	0.0	●	停止
07	9.4	1	1	BZH14.WAV	A007b.wav							●	無灯	0.0	●	停止
08	4.9	1	1	BZH15.WAV	A008b.wav							●	無灯	0.0	●	停止
09	0.0	1	1		BZH14.WAV							●	無灯	0.0	●	停止
10	0.0	1	1		BZH06.WAV							●	無灯	0.0	●	停止
11	0.0	1	1		PN101.WAV							●	無灯	0.0	●	停止
12	0.0	1	1		PN3.WAV							●	無灯	0.0	●	停止
13	0.0	1	1		PNPN.WAV							●	無灯	0.0	●	停止

【操作ボタン】



名称	内容
一括登録	WAVE ファイル登録画面のデータをエディタ画面に一括登録します
再生	No.単位(アドレス)で試聴できます
上移動	音声データ(WAVE ファイル)を上移動
下移動	音声データ(WAVE ファイル)を下移動
左移動	音声データ(WAVE ファイル)を左移動
右移動	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します
削除	指定した音声データ(WAVE ファイル)を削除します その際、後に音声データがある場合、左移動します
全クリア	エディタ画面上の全音声データ情報を削除(オールクリア)します 但し、WAVE 登録データやカード作成データなどはそのままです。

No.	SP	RP	時間	1	2	3	4	5	6	7	8
01	1	1	55	BZH07.WAV	A007b.wav						
02	1	1	24	A007b.wav							
03	1	1	19	A002b.wav							
04	1	1	16	B007b.wav							
05	1	1	21	E002b.wav							
06	1	1	20	G007b.wav							
07	1	1	26	R017b.wav							
08	1	1	30	BZH01.WAV							
09	1	1	00	BZH04.WAV							
10	1	1	00	BZH09.WAV							

名称	内容	メモ
No.	アドレス(接点端子)	後記記載の No.-アドレス対応表参照
SP	音声出力系統の設定	(注)出力系統の切替機能を有する機種
RP	リピート回数設定	最大 5 回までリピートできます (組立再生 1-8 全体)
VOICE 1-8	音声データ(WAVE ファイル)の登録	最大 8 データまで組立再生できます

■アドレス(接点端子)の登録

本画面の No.は、iMAX シリーズのアドレス(接点端子)に対応しています。
 試聴ボタンで個別 No.毎に再生できます。
 全試聴ボタンで全 No.を再生できます。
 (注)プログラム登録内容も反映して再生します。

アドレス(接点端子)登録

Sound登録画面

登録する No.のセルをマウスで指定し、WAVE ファイル選択画面から WAVE ファイルを選択・登録します。

■iMAX Editor 上の No.と再生ボード・装置 iMAX シリーズのアドレス・接点端子対応表

iMAX シリーズ		iMAX Editor
接点制御	バイナリ制御	No.
SW1	01H	1
SW2	02H	2
SW3	03H	3
SW4	04H	4
SW5	05H	5
SW6	06H	6
SW7	07H	7
SW8	08H	8
(以降機種による)	(以降機種による)	:
	:	:
	FEH	254
	FFH	255

【テクニック】

接点端子、アドレスの飛び飛びの割付	本画面で登録します。 (例)SW1-A.wav SW2-無 SW3-無 SW4-B.wav
WAVE ファイルが同一で、プログラム再生登録が異なるカードデータの作成	前回のカードデータをファイル読み込みで読み込みます。 WAVE ファイルの移動、削除、追加します。 カードデータ作成画面で、ファイル名、フォルダ名を変更して新規にカードデータを作成します。
WAVE ファイルを数多く登録しておいて、再生するカードデータを作成	例えば、スマートメディアに収納できれば、255の WAVE ファイルを登録しておいて、プログラム再生登録で、再生内容を変更していくこともできます。 予備の WAVE ファイルも登録しておけます。

VoiceNavi

■エディット - プログラム登録 (組立再生・リピート回数・出力系統)

各アドレス(接点端子)にフレーム(組立)再生やリピート回数などのプログラム登録ができます。

【プログラム登録】

表示	項目	選択	概要
1~8	フレーム(組立再生)	WAVE ファイルを選択	1 アドレス(接点端子)-8WAVEmax.
RP	リピート回数	数字 1~9	1 アドレス(接点端子)-5 回 max.
SP	出力系統	数字 1~9	複数の出力系統を有する製品のみ

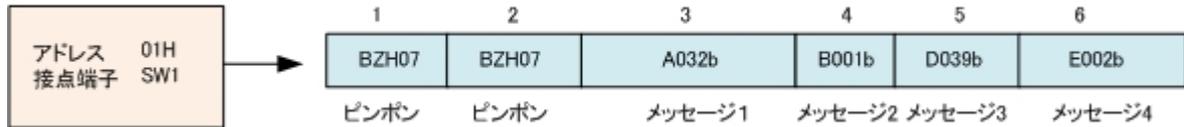
(注)リピート回数設定は、上記組立再生が有る場合、全体をリピートします

●フレーム再生(組立再生)

再生時間 (フレームの場合、合計時間)

フレーム(組立再生)登録
1アドレス(接点端子) 8データmax.

No.	SP	RP	時間	VOICE											
				1	2	3	4	5	6	7	8				
01	1	1	13.8	BZH07.WAV	BZH07.WAV	A032b.wav	B001b.wav	D039b.wav	E002b.wav						
02	1	1	2.4	A032b.wav											
03	1	1	1.9	B001b.wav											
04	1	1	1.6	D039b.wav											
05	1	1	2.1	E002b.wav											
06	1	1	2.0	G001b.wav											
07	1	1	2.6	E011b.wav											
08	1	1	3.0	RB11b.wav											
09	1	1	0.0												
10	1	1	0.0												



●リピート回数

No.	SP	RP
01	1	1
02	1	1
03	1	2
04	1	3
05	1	4
06	1	5
07	1	6
08	1	7
09	1	8
10	1	9

リピート回数を設定します。(実際は再生回数)

RP	再生回数
1	1 回
2	2 回
3	3 回
4	4 回
5	5 回
6	
7	
8	
9	

VoiceNavi

レポート回数登録

フレーム(組立再生)登録
1アドレス(接点端子) 8データmax.

No.	SP	RP	時間	1	2	3	4	5	6	7	8
01	1	1	13.8	BZH07.WAV	BZH07.WAV	A032b.wav	B001b.wav	D039b.wav	E002b.wav		
02	1	1	2.4	A032b.wav							
03	1	1	1.9	B001b.wav							
04	1	1	1.5	D039b.wav							
05	1	1	2.1	E002b.wav							
06	1	1	2.0	G001b.wav							
07	1	1	2.6	E001b.wav							



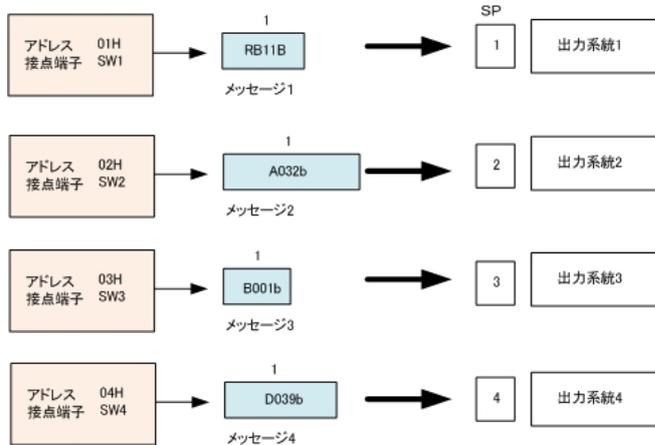
●出力系統

No.	SP	RP
01	1	1
02	2	1
03	3	1
04	4	1
05	6	1
06	7	1
07	8	1
07	9	1

(注)本機能は、使用する製品によります。(WRX6500 など)
音声出力系統を設定します。

(注)

- ・本機能は、使用する製品によります。(WRX6500 など)
- ・本機能は、製品による別の機能設定用に使用します。



■エディット - プログラム登録 (LED・ブザー出力・EX 出力)

LED 表示灯・ブザー出力・EX 出力を有する製品の場合、各アドレス(接点端子)に接続した LED 表示灯・ブザー出力・EX 出力などのプログラム登録ができます。

【プログラム登録】

表示	項目	パターン選択	概要
LED	フレーム(組立再生)	無灯・点灯・減 A・減 B・減 C	時間指定
BZZAR	リピート回数	停止・鳴動・鳴 A・鳴 B・鳴 C	時間指定
EX	出力系統	有・無	再生出力と同期

(注)リピート回数設定は、上記組立再生が有る場合、全体をリピートします

【LED 表示出力】 (注)本機能搭載製品のみ本データ有効

LED		
	TYPE	TIME
<input type="radio"/>	減A	3.0
<input type="radio"/>	無灯	3.0
<input type="radio"/>	点灯	3.0
<input type="radio"/>	減A	3.0
<input type="radio"/>	減B	3.0
<input type="radio"/>	減C	3.0
<input type="radio"/>	減B	3.0
<input type="radio"/>	減B	3.0

LED		
	TYPE	TIME
<input type="radio"/>	減A	3.0
<input type="radio"/>	減B	3.0

LED 表示の点灯点滅パターンを選択します。

時間入力します。

【ブザー出力】 (注)本機能搭載製品のみ本データ有効

BUZER		
	TYPE	TIME
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	鳴動	0.0
<input type="radio"/>	鳴A	0.0
<input type="radio"/>	鳴B	0.0
<input type="radio"/>	鳴C	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0
<input type="radio"/>	停止	0.0

BUZER		
	TYPE	TIME
<input type="radio"/>	停止	0.0

ブザー鳴動パターンを選択します。

時間入力します。

(注)音声・音響データ出力する場合、停止に設定して下さい。

【EX出力】

EX				
	1	2	3	4
<input type="radio"/>	有	有	無	無
<input type="radio"/>	有	有	無	無
<input type="radio"/>	有	有	無	無
<input type="radio"/>	有	有	無	無
<input type="radio"/>	有	有	無	無

(注)本機能搭載製品のみ本データ有効
本出力機能の有無・内容は製品仕様によります。
(注)原則として「無」に設定してご使用下さい

■コントロールデータ作成

エディタ画面でデータ入力し、テストが終了しましたら、コントロールデータ作成画面に所定事項を入力し、コントロールデータを作成します。

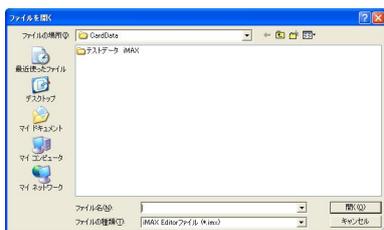
作成したコントロールデータは|マイドキュメント|iMAXEditor CardData |内にコントロールデータファイル.imx を作成後、WAVE ファイル .wav を収納先から複写します。

【コントロールデータ作成画面】

(注) * は必須入力事項です。



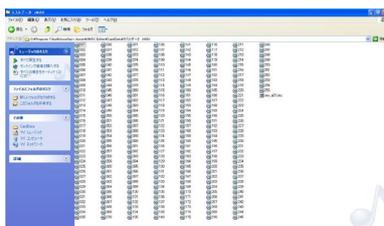
作成フォルダ名	全角 14 文字まで (例)A11ライン 異常報知
コントロールファイル名	8.3 形式 アルファベット 英数字 (例) abc_001.fva (注) -() [] 等不可



コントロールデータは|設定|データ保存先|で設定したフォルダに収納されます。

■作成したコントロールデータデータの収納先

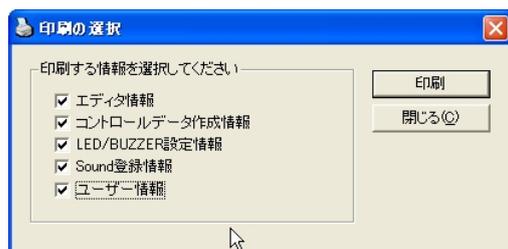
[デフォルト] C:\マイドキュメント|iMAXEditor CardData |



|作成フォルダ名|内にコントロールデータファイル***.imx を作成後、WAVE ファイル .wav を収納先から複写します。

■ドキュメントの印刷

カードデータ作成後、印刷画面で各種情報を A4 横用紙で印刷できます。
使用しているプリンターの印刷画面で枚数を入力します。

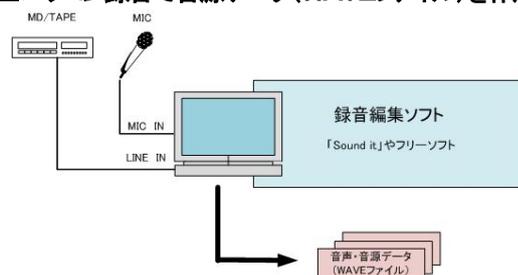


印刷したい情報欄をチェックします

項目	内容
エディタ情報	エディタ画面
コントロールデータ作成情報	カードデータ作成
SOUND 登録情報	WAVE 登録
ユーザー登録情報	ユーザー情報

参考資料

■パソコン録音で音源データ(WAVEファイル)を作成する場合



お手持ちのパソコンにマイクを接続して録音(デジタル録音)できます。

録音したデータはひとまず、WAVE ファイル形式で保存します。

録音編集ソフト上の録音レベルメーターでレベル調整しながら録音し、波形を見ながら前後の無音データをカットし、保存します。

【録音機器】

区分	メーカー	備考
マイクروفオン	サンワサプライ	MM-MC10 (マイクミュート OFF SW 付)他
スピーカー	サンワサプライ	MM-SPL2(5W)他 (注)PC 付属または内蔵スピーカーで可。

●録音編集ソフト (注)USB サウンドユニット使用に場合、添付ソフトをご利用下さい。

区分	ソフト名	概要
フリーウェア	SoundEngine (サウンドエンジン)	フリーウェアの定番ソフト 録音編集はこの一本で OK。編集機能も充実しています。 録音レベルメーターがあるので、録音もし易い。
	WavePaseri (ウェーブパセリ)	シンプル操作・日本語表示でわかりやすい。 録音・編集時間:5 分 max. WAVE 録音 & 加工編集機能。 このソフトで物足りない方は市販ソフト「Sound It」をご利用下さい。
市販ソフト	Soundit ! (サウンドイット)	市販品 9,800 円 録音編集ソフト(コンバート・リッピング機能付) 非常にわかりやすい画面・操作で未経験者でも即使用できる。 これ 1 本で、パソコン録音、音楽 CD からリッピング、ファイルコンバート、データの加工編集ができます。

【一ロメモ】

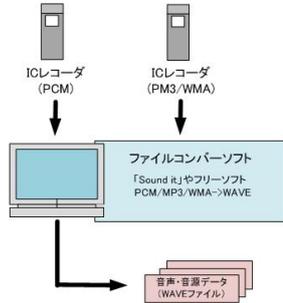
デジタル原音 WAVE AIFF オーディオ CD	アナログから D/A 変換した PCM 形式(パルスコードモジュレーション)のデジタル原音データに拡張子を付記して Window OS では「WAVE」、MAC OS では「AIFF」を呼びます。 市販オーディオ CD のデータも PCM 形式です。 パソコン上ではオーディオデータは TRACK01 ~ と表示されます。
MP3/WMA 他	上記のデジタル原音 PCM から 1/4 ~ 1/10 データ圧縮変換したデータを圧縮変換方式により MP3/WMA データと呼びます。本来、非可逆圧縮データですので本来の原音データには戻せないのですが、近年のコンバート機能を有する録音編集ソフトでは WAVE ファイルなどの原音データ(近似音)や他の圧縮データへ変換できます。
MIDI	近年のコンバート機能を有する録音ソフトでは WAVE/MP3 ファイル形式などへ変換できます。

■テキスト音声変換ソフトで音源データ(WAVEファイル)を作成する場合

市販のテキスト音声変換ソフトを使用して音源データ(WAVE ファイル)を作製できます。
音質やアクセント等の特質を理解の上、購入・ご使用下さい。

名称	メーカー	メモ
VoiceNavi Announcer 2J (Excel アドオンソフト)	三共電子	「ボイス君のテキストスピーチ 2」バンドル Excel 上で最大 255 メッセージまで試聴・作成できます。 [推奨用途] ・自社工場製造・検査ラインの音声警報・作業指示 ・音声メッセージの原稿内容評価 ・社内開発時評価用 (本番はスタジオ録音)
ボイスソムリエ	日立ビジネスソリューション	高品位 約 9.8 万円 19.8 万円(企業内利用)
美音工房	日立情報制御ソリューションズ	高品位 約 19.8 万円(企業内利用)

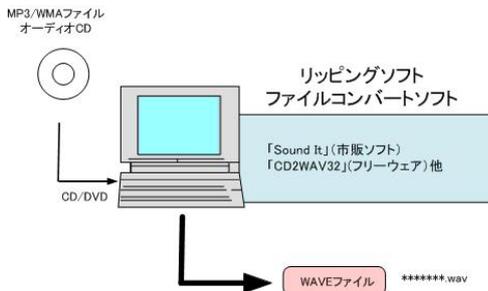
■IC レコーダ(ボイスレコーダ)で音源データ(WAVEファイル)を作成する場合



IC レコーダ(ボイスレコーダ)が普及しています。

IC レコーダ(ボイスレコーダ)を手軽な録音機として使用し、録音したデータをパソコン上で WAVE ファイル形式に変更します。

■オーディオ CD/MP3・WMA・MIDI ファイルから音源データ(WAVEファイル)を作成する場合



オーディオ CD からリッピング、音源データ(WAVE ファイル)の加工編集したい場合、市販ソフト SoundIt を推奨します。フリーウェアソフトで行なう場合、自社責任で行って下さい。

(注)音源データの著作権につきましては自社責任で処理を行って下さい。

区分	ソフト名	概要
フリーソフト	CD2WAV32 日本語専用版有	リッピングソフト フリーウェアでここまでできるかと驚嘆！
市販ソフト	Soundit ! 「サウンドイット」	市販品 9,800 円 録音編集ソフト リッピング ファイルコンバート

(注)上記ソフト評価済み。他に同様なソフトがありますが自社責任でお願いします。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉 3500-17
TEL 026-217-2797 FAX 026-217-2893
URL <http://www.voicenavi.co.jp/> E-mail info@voicenavi.co.jp